

平成28年度 第2回学校評価表 まとめ

函館大妻高等学校 平成29年2月実施

- 4 : 十分達成している (適切である) 3 : 概ね達成している (概ね適切である)
 2 : 不十分である (やや適切ではない) 1 : 改善を要する (適切ではない)

自己評価 : 教員数 30名 回答 30名 (100%)
 学校関係者評価 : 保護者数 28名 回答 28名 (100%) 学校評議員 6名 回答 6名 (100%)

分野領域	評価項目	自己評価 (教員)	改善の方策	学校関係者 評価 (保護者)	学校評議員 評価
学校運営	教育目標や重点目標が生徒の実態や保護者、地域社会の願いを踏まえた内容になっている。	3.53	<ul style="list-style-type: none"> もっと大妻高校の良い所をアピールした方が良いと思います。知らない人がたくさんいます。 入学する生徒が抱えている問題が多岐にわたってきているので、定員充足率の在り方を検討すべきだと思う。 学校としての方針を学期ごとに周知されていると感じています。 	3.31	4.00
	建学の精神や理事長、校長による学校経営・運営方針が全教職員に周知されている。	3.53		3.39	4.00
	組織的・機能的な学校運営を目指し、各分掌間の連携を図り、教職員の共通理解に基づいた教育活動を推進している。	3.20		3.39	3.67
	定員に対する充足率を上げ、安定した教育環境の維持・発展に努めている。	3.37		3.18	4.00
	ミドルリーダーの養成及び教員の専門性を高めるため、各種研修会への参加を図っている。	3.67		3.43	3.67
学校関係者の意見等：面倒見が良いという評価が地域に定着している。もっと外部発信すべきだと思う。					
教育課程・学習指導	特色ある教育課程を編成・実施するとともに、点検・改善に努めている。	3.47	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は粘り強く寄り添う指導を実践している。 より一人ひとりの能力を見極め、適切な言葉がけを含めた問題の共有が今以上に必要。 教育課程の見直しが遅れている。新学習指導要領についても考えていく必要がある。 	3.61	4.00
	社会に求められる専門教育を展開し、生徒の社会的・経済的自立を目指した指導をしている。	3.50		3.46	4.00
	基礎・基本の確実な定着をめざし、授業改善の推進を図っている。	3.30		3.36	4.00
	生徒に寄り添い、個に応じた分かりやすい授業を行って教科指導の工夫に努めている。	3.30		3.32	3.67
	授業形態や教材の工夫・改善を図り、課題解決に主体的に取り組む資質能力の育成に努めている。	3.17		3.07	3.67
学校関係者の意見等：社会が求めるニーズに的確に対応した学科をつくり、資格取得につなげている。					
生徒指導	頭髮、服装、身だしなみ、遅刻、欠席、挨拶などの基本的な生活習慣の育成を図っている。	3.23	<ul style="list-style-type: none"> SNS等に対する対応を学校全体で考えていくことも必要。 生徒の居場所作りに関わる研修の機会をつくる。 大妻の生徒を見てもう少し・・・と思うときはあります。 大妻の生徒としていつも見られていると思って欲しいと思います。 	3.36	4.00
	ボランティア活動の啓発や家庭、地域社会、関係機関との連携を図るとともに、自主的・自発的活動の促進に努めている。	3.40		3.46	3.83
	安心・安全・居場所のある学校環境作りを目指し、いじめの根絶を目指している。	3.40		3.20	4.00
	自転車等の交通安全指導や運転マナーの指導が適切に行われている。	3.57		3.18	4.00
学校関係者の意見等：一部の生徒にスカート丈の短いのが見られるが、概ねよくやっていると思われる。					

進路指導	進路選択のための外部講師によるガイダンスが効果的に機能している。	3.43	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに対応した指導を、根気強くしていくことが大切。 チームを組んでやった方が良い。 	3.29	3.67
	講習や模擬試験の指導など、進路実現に向けた援助活動が積極的に行われている。	3.33		3.43	3.67
	ホームルーム活動等を通して、進路希望達成に向けた支援をしている。	3.60		3.32	3.67
学校関係者の意見等：現段階での進路決定率が96.3%であり、多様化している生徒の中でよくやっていると思われる。					
健康・安全指導	性教育や薬物乱用防止教育等を通して、生徒の健康面に配慮した適切な指導が行われている。	3.70	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーと連携しながら対処できていると思う。 地震に対する訓練がないのでやってもよいと思う。 	3.32	3.83
	教育支援や教育相談等、生徒の抱える悩み等に連携しながら適切に対処している。	3.47		3.29	4.00
	AED講習会や避難訓練、水質検査等の訓練や学習環境の検査を定期的に行っている。	3.53		3.17	4.00
学校関係者の意見等：担任の先生をはじめ、大妻の先生方は生徒に寄り添いながら粘り強い対応をしている。					
特別指導	生徒会行事の内容・実施時数及び事前指導・事後の評価等が適切になされている。	3.27	<ul style="list-style-type: none"> 全教員の協力がないうちにもあるので、共通理解を進める。 	3.43	3.67
	生徒会行事、部活動等に全教職員の協力が得られ活性化されている。	3.13		3.36	3.83
	生徒会行事、部活動での安全への配慮及び保護者との協力体制が適切にとられている。	3.50		3.43	4.00
学校関係者の意見等：以前の大妻の運動部は良く新聞を賑わせていたが、もう少し頑張って貰いたい。					
地域との連携	積極的なボランティア活動を通じて、地域社会や関係機関との連携を深めている。	3.70	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動自体が少ないのでもっと増やした方が良いと思われる。 	3.43	4.00
	保護者や地域からの意見を積極的に聴取し、学校改善に役立っている。	3.37		3.25	3.83
	PTA活動を通して、学校と家庭との連携が図られている。	3.40		3.25	3.67
学校関係者の意見等：大妻のボランティア活動を高く評価する声を良く聞く。地域貢献は大切なことです。					
信頼される学校づくり	生徒・学校・地域社会の実態に即した教育目標が設定されている。	3.60	<ul style="list-style-type: none"> まだ情報発信が足りない。HPをもっと充実させる必要がある。校長先生の言葉を載せたり、生徒の声を載せたりなど。 進路等、色々な先生方が話を聞いてくれる、と生徒が話していたので良いと思います。 	3.32	3.83
	進路実現に向けた体制や資格取得に向けた教育環境が整っている。	3.50		3.54	4.00
	学校開放や施設設備を活用する等、保護者や地域社会と連携しながら、開かれた学校づくりを推進している。	3.63		3.36	3.83
学校関係者の意見等：施設設備なども整ってきたので、生徒に夢や希望を与える教育を実践して貰いたい。					

3.44

3.34

3.86